



令和3年度 中部大学連携講義 大場裕一 教授

1月17日(月)3・4限に、2年生理系の生物選択者27名を対象に、中部大学 応用生物学部 環境生物科学科の大場裕一教授による今年度2回目となる講義が行われました。前回、12月13日に学校敷地内で採集したホタルミミズをエタノールに漬けて保存しており、今回はそのホタルミミズからDNAを抽出するという実習を行いました。DNA抽出や制限酵素、PCR法など、知識として知ってはいるけど、実際に経験をすることにより理解が深まったと思います。PCR法については感染症の診断で一躍有名になりましたが、実際にどのような操作を行うのか、どのように判定しているのかも、大場先生が解説してくださいました。次回は3月7日(月)に3回目の講義を予定しており、今回抽出したDNAのハプロタイプを解析します！

